

施設のご案内

パートナーシップ さいたま		ひと 女・男プラザ
場所	大宮区桜木町 1-10-18 シーノ大宮 センタープラザ3階	緑区中尾 1440-8 プラザイースト3階 *浦和駅東口又は東浦和駅よりバス、 「緑区役所入口」下車
開館 時間	平日 9:00~21:00 土・日・祝日 9:00~17:00	9:00~17:00
休館 日	第4日曜日、年末年始	月曜日、年末年始
施設の利用		
男女共同参画の推進を目的とする活動に、ご利用ください。 (パートナーシップさいたまの会議室・プレイルームと 女・男プラザの団体活動室は、利用登録が必要です。)		
情報・資料コーナー、交流コーナー		
本や雑誌、行政資料、ビデオなどがあります。 閲覧、貸出しができます。ちょっとした話し合いに利用できる 交流コーナーもあります。		
お問い合わせ	パートナー 048-642-8107	048-875-9966

相談のご案内

- 女性の悩み電話相談
女性の生き方、夫婦、親子の問題、職場や近隣の人間関係などの相談に応じます。
パートナーシップさいたま ☎048-643-5813
月～金/10:00～20:00 土・日・祝/10:00～16:00
女・男プラザ ☎048-875-9653
金/10:00～17:00
浦和区役所 女性の相談室 ☎048-829-6129
月・火・水・金/10:00～17:00
中央区役所 女性の相談室 ☎048-840-6132
月・水/10:00～17:00
岩槻区役所 女性の相談室 ☎048-790-0158
月・水/10:00～17:00
 - 女性のための法律相談(予約制)
女性の弁護士が相談に応じます。
パートナーシップさいたま ☎048-642-8107
第2・第4水曜日/13:00～15:30
女・男プラザ ☎048-875-9966
第1・第3火曜日/13:00～15:30
 - 女性のための心の健康相談(予約制)
専門の女性の医師が相談に応じます。
パートナーシップさいたま ☎048-642-8107
第4金曜日/13:30～16:15
 - 男性の悩み電話相談
男性の生き方・仕事・家庭・夫婦・人間関係などの相談に応じます。
パートナーシップさいたま ☎048-643-5805
第2・第4火曜日/18:30～20:30(祝休日は除く)
- ◆相談は無料です。◆秘密は厳守します。

●女性のDV電話相談

DV相談センター ☎048-642-6699
月～金/10:00～17:00(祝日、年末年始は除く)

100年以上の歴史を持つスपोर्टスイベ
ント「ツール・ド・フランス」をご存知で
しょうか? パリの凱旋門を目指し、起伏
に富んだ全長3500kmもの長いコースを
3週間かけてヨーロッパを縦走する世界最
大の自転車レースです。いつか見に行きた
いと思っていたのですが、2013年から
さいたま市で「ツール・ド・フランスさい
たまクリテリウム」が開催されることにな
り、思いがけず夢が叶いました。レース形
式は全く違いますが、その年のレースに出
場した選手達を身近に見て、沿道の観戦者
同士が打ち解けるのは本場と同じではな
いでしょうか。また、回を重ねることに、食
べたり飲んだりしながら応援するヨーロッ
パ流のレースの楽しみ方が浸透してきたよ
うに思えます。さいたま市の代名詞として、
定着することを願っています。(三澤 裕子)

ほっとたいむ
毎年のごとですが、夏の暑さはいつも厳
しくて、なにに夏が過ぎるとちょっとさび
しい感じがします。
9月24日～12月11日、さいたま市で初
めて「国際芸術祭さいたまトリエンナーレ
2016」が開催されます。芸術と聞くと
とても遠く感じてしまいがちですが、参加
して楽しむ大きなお祭りと考えていいよ
うです。小学生の時にやった図画工作や音楽、
体育のダンスをもう一度みんなで楽しもう
という企画です。
この先に楽しみにしていることがあるって
なんかいいですね。と自分に言い聞かせて
作品展示に参加します。
自信をもってご案内できるよう、作品制
作のプレッシャーに耐え、ガンバります。
(河西 純恵)

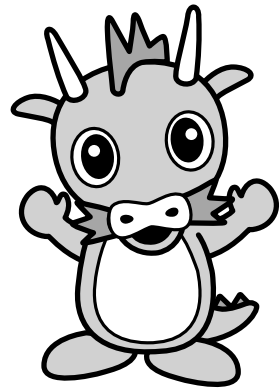
広報誌「鐘の音」のご感想、ご意見をお寄せください。
郵便、FAX、E-mailでパートナーシップさいたままで
お願いします。

パートナーシップさいたま広報誌「鐘の音」vol.36 2016年9月25日発行
<編集・発行>
さいたま市男女共同参画推進センター(愛称 パートナーシップさいたま)
編集員/河西純恵・新藤賢十郎・武田礼子・深堀樹・三澤裕子
〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-10-18シーノ大宮センタープラザ3階
電話 048-642-8107 FAX 048-643-5801
E-mail: danjo-kyodo-sankaku@city.saitama.lg.jp

◆ホームページもご覧ください◆
9・3月発行(年2回) この広報誌は3,500部作成し、1部当たりの印刷経費は17.6円です。

パートナーシップさいたま広報誌
(さいたま市男女共同参画推進センター)

鐘の音



Vol.36
2016.9発行



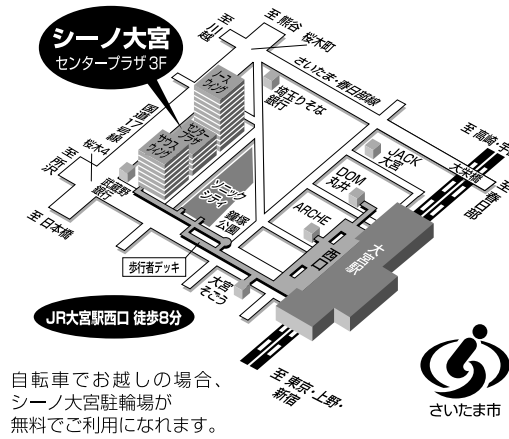
大宮の古い地名「鐘塚」に建てられた「パートナーシップさいたま」から、
男女共同参画推進の鐘の音を響かせたい、その願いを込めて名づけました。



©Mayumi Noda

特集 パートナーシップさいたまの講座について... 2

- 「ただいま活動中」(起業を目指す女性の会) 3
- イベント&セミナーレポート 4
- コラム「子どもを育てるのは母親だけ?」 5
- Book Navi 図書のご案内 5
- 施設・相談のご案内/ほっとたいむ 6



自転車でお越しの場合、
シーノ大宮駐輪場が
無料でご利用いただけます。



パートナーシップさいたまの講座について

パートナーシップさいたまでは、「男女共同参画」に関する様々な講座・講演会を実施しています。



充実した内容で、しかも、日々の暮らし方に影響を与えてくれるものでした！

託児付き講座なので、『自分のための学ぶ時間』をつくることができました！



などのご感想をいただいております。

パートナーシップさいたま講座で検索

これから開催される講座・講演会の一部をご紹介します。是非ご参加ください。

※申込開始日等の詳細につきましては、市報・ホームページ (<http://www.city.saitama.jp/006/010/002/004/index.html>) で随時お知らせしますので、ご覧ください。

DV 防止
セミナー

DV 法で変わったこと・さらに変えたいこと



日時 平成 28 年 11 月 26 日 (土) 14:00 ~ 16:00

場所 生涯学習総合センター 多目的ホール

講師 角田 由紀子さん (弁護士)

DV 法が制定されたことで、過去には「夫婦喧嘩」で片づけられていたものが女性への暴力と定義され、警察の介入が可能になりました。

しかし、DV も含むストーカーや児童虐待事件など、痛ましい事件はなくなりません。私たちや私たちの大切な人が巻き込まれてしまうかもしれない、身近な問題です。

この現状を、どう変えていくことができるのか、DV 法成立にも関わった角田由紀子さんを迎えて一緒に考えてみましょう。

※申込みは 11 月初旬受付開始予定です。

「シェ シブヤ」
シェフに教わる
クリスマス・スイーツ!

同世代のモヤモヤを語り、 ケーキづくりでリフレッシュ!



日時 平成 28 年 12 月 4 日 (日) 9:30 ~ 12:00

場所 さいたま市桜木公民館 調理室

講師 渋谷 一彦さん (仏蘭西菓子・喫茶「シェ シブヤ」オーナーシェフ)

対象 20 代 ~ 30 代の独身の方

若年世代の方の中には、今の働き方に不安を覚えながらも、仕事の疲れと共に日々が過ぎてしまう方も多いのではないのでしょうか。クリスマスにもぴったりのスイーツ作りに取り組みながら、同じ世代同士の気持ちをシェアしてみたいはいかがでしょう?

※申込みは 11 月初旬受付開始予定です。

コラム

子どもを育てるのは母親だけ?

2010 年大阪ミナミで一つの事件がありました。当時 23 歳の母親と住んでいた 2 人の子どもがマンションの一室で変わり果てた姿で見つかり、母親が逮捕された事件です。

2012 年に行われた裁判員裁判では「殺人罪」で審議されました。「殺意はなかった」と控訴しましたが、最高裁は 2013 年上告を退け、懲役 30 年の判決が確定しました。

子どもたちの死を防ぐことはできなかったのでしょうか。すべて母親だけの責任なのでしょうか。

離婚後、父親や祖父母が子どもたちと面会したことはなく、母親に様子を尋ねることもありませんでした。そもそも母親は離婚の際に「子どもは母親が育てるべき」と通告され、住むところも仕事もなく子ども 2 人と放り出されたのです。どうして「母親が育てるべき」と決めたのでしょうか。社会がそういう考え方だからではないのでしょうか。父親もいるはずなのに…。

現代は女性が出社して働くことが当たり前の時代です。「子育ては母親の仕事」という古い慣習を見直し、行政や地域住民等も含め社会全体で子育てを応援する必要があるのではないのでしょうか。
(武田 礼子)

BookNavi

情報・資料コーナーで貸し出ししている図書のご案内です。

幼少の頃の心の傷がトラウマとなり、その後の人生に影響を与えることが知られてきました。その多くが家庭環境とみられています。親の都合で知らぬ間に傷つけてしまっているかもしれない子どもたちの心に寄り添い、多様な思考を育むために書かれた絵本をご紹介します。
(三澤 裕子)

『王さまと王さま』

絵と文：リンダ・ハーン/スターン・ナイランド
ポット出版 (2015)

お姫様と王子様が結ばれるのではなく、王子様と王子様が結ばれるお話が面白い。オランダで生まれ世界各国で翻訳されているレズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダーをテーマにした絵本。



『パパはステキなおばさん』

文：石井睦美 絵：あおきひろえ BL 出版 (2011)

主人公まりちゃんの家庭は、ママが会社で働き、パパが家事をしている。何の疑問も持っていなかったが、ある日、友達の一言で不安に思い始め…。友達の家と違うことが気になり始める小学校 1、2 年生向けの図書。



『あしたてんきになあれ』

文：薩摩菜々 絵：永松美穂子 未知谷 (2005)

親の不仲を察知した子どもは自分の責任だと思い込みがち。この絵本は、離婚に困惑する子どもにとっては安心を、親にとっては離婚を子どもたちにどのように伝え、親子の最良な関係を保つにはどうしたら良いのかを示してくれる。



イベント&セミナーレポート

パートナーシップさいたまで実施したセミナーをご報告します。

音楽でたどる女性ヒストリー ～ファミリーコンサート～

平成28年7月10日(日)生涯学習総合センター多目的ホール(10階)で開催されました。



今年は『パートナーシップさいたま』の活動をより広く知ってもらいたいという主旨から、初めての試みでファミリーコンサートが開かれました。埼玉県立大宮光陵高等学校音楽科同窓メンバーを中心に結成された『藤ノ友』による歌と演奏です。

NHK朝の連続テレビ小説『あさが来た』のテーマ曲でスタートしました。プログラムは二部構成で、第一部「日本の働く女性」では実際にタイプライターを打って『タ

イプライター』という曲が演奏され会場が沸きました。

休憩をはさんで第二部「女性にやさしい世界の国」ではその国の映像を見ながら女性問題に触れたり、クイズがあったりと趣向を凝らした構成になっており、クラシックから誰もが知っている曲まで幅広い音楽の世界を楽しみました。

アンコール曲はオープニングと同じ『あさが来た』を皆で歌って終演となりました。

当日は暑い中大勢の方が来場され大変盛り上がりました。又、子供達や、家族での参加もあり和やかで楽しい雰囲気でした。

(深堀 樹)



性暴力 今何が起きているのか～必要な支援を考える～

平成28年7月27日(水) With Youさいたま(4階)で開催されました。講師はSANE(性暴力被害者支援看護師)の山本潤さんです。会場は満員、参加者の大部分は女性で、男性は少数でした。

性暴力とは、痴漢やセクハラなどの同意のない性的言動であり、夫婦や恋人同士であっても性的自己決定権を發揮できなかった瞬間に起きるものです。

性暴力にあった場合、警察に連絡、相談した割合はわずか3.7～10%です。これは、犯罪として立証するための証拠が残りにくく、被害者のトラウマが重いこと等が原因です。加害者を送検・起訴し、裁判で有罪にすることはハードルが高く、被害が明らかになりにくいシステムとなっています。

また、近年は性暴力も多様化しています。リベンジポルノ等の「インターネット性犯罪」が発生し、18歳以下の子どもたちが言葉巧みに狙われるようになりました。

被害者である子どもたちが、自分から関わりを持ったように見えてしまうことが問題点として挙げられます。

このような状況の中、性暴力被害者に対して適切な支援を行う必要があります。その代表的な存在がSANE(性暴力被害者支援看護師)です。SANEは、心身に傷を負った性暴力の被害者に適切なケアを提供するための訓練を受けた、女性の看護師・助産師・保健師です。さらに、病院・警察・検察・NPOが支援を展開するSART(性暴力対応チーム)と連携・協力して働くことで二次被害を防いだり、軽減することができます。

しかし何よりも大切なことは、性暴力を受けていい人間はいないと理解することです。被害者やサバイバーの気持ちを尊重し、性暴力の責任はあくまで加害者にあるということを知ることこそ、性的安全・性的健康を守る社会づくりに繋がるのではないのでしょうか。

(新藤 賢十郎)

市民企画講座 様々な分野で活動している団体に講座の企画・運営の機会を提供し、団体活動の支援を行っています。

大切だけど、(時々)うっとうしい?! その名は“家族” ～あなたのなかの「家族」が見えてくるブックトーク～

家族をめぐる変化やそれぞれの生き方について、参考図書をもとに語り合います。

日時: 11月12日(土)、19日(土)、12月3日(土) 14:00～16:00

11月26日(土) 10:00～12:00

場所: パートナーシップさいたま 会議室3

※申込みは10月初旬受付開始予定です。



メールリストのご案内

パートナーシップさいたまから講座等のご案内を配信しています。

ご希望の方は、「danjo-kyodo-sankaku@city.saitama.lg.jp」宛にメールにてご連絡ください。

※上記のアドレスからメールが受信できるように設定をお願いいたします



ただいま
活動中

起業を目指す女性の会

2015年にパートナーシップさいたまで開催された「いつか、ではなく今始める起業プレゼン講座」のOGを中心としたメンバーが「起業を目指す女性の会」(代表・塚田真知子)を今年6月に立ち上げました。

「定年後の生きがいに起業したい!」「子育てしながら自分のスキルを活かしたい!」等という20代～70代の女性が集まり、月に1回“さいたま女性起業家井戸端交流サロン”という勉強会を開催しています。

さいたま市創造財団の中小企業診断士の先生を招き、名刺の作り方やSNSの集客術など起業の初歩的なことを学んでいます。

講座後には、参加者同士の交流会も行い、起業の相談、仲間作り等の場も提供しています。プレイルームが利用できるの小さなお子さん連れのママにも大変喜ばれています。

子育て中のママから定年を迎えたシニア世代と幅広い年齢層が、さまざまな価値や視点を持ち、お互いに協力し、勉強をしながら起業を目指しています。

(中山 望)



参加希望の方は、saitamaidobata@gmail.comまでご連絡ください。

場所: さいたま市男女共同参画推進センター「パートナーシップさいたま」

シーノ大宮センタープラザ3階

参加費: 500円